

本年度からNIE実践指定校となった小浜二中が、新聞の活用方法を学ぶ教員向け研修を開いた。講師を務めた福井新聞社の徳島泰彦コーディネーターは「社会とつながる新聞を通して学び、多様な思考力、表現力を育てることが『NIE』に取り組みたい」とNIEに取り組む意義を強調した。

西川芳夫校長をはじめ教員30人が参加した。徳島コーディネーターは「社会とつながる新聞を通して学び、多様な思考力、表現力を育てることが『NIE』に取り組みたい」とNIEに取り組む意義を強調した。

イネーターは、子どもたちが情報化、グローバル化が進化する社会を生き抜くには、実社会とつながり、結び付く学びが求められていると説明。NIEは「協働」での活動を基本に、コミュニケーション能力を培うことができ、新聞の文章や写真、グラフ、分析を読み取ることで「解のない問いを考えたり、複数の解を求めたりする活動が思考力の

記事通し思考力育てて



向上につながる」と話した。記事からオリジナルの見出しを作ったり、感想や意見を発表する新聞スピーチ、テーマに沿った見出しを集める「言葉の貯金箱」など18の実践例を紹介。ペアになった相手の「気になる記事」を当てるワークショップも行い、コミュニケーションを深める教材としての活用を学んだ。岡裕史教諭(29)は「新聞は子

小浜二中 教員向け活用法研修



和気あいあいとした雰囲気、新聞を活用したワークショップに取り組む教員たち= 5月13日、小浜市の小浜二中

どもに必要な情報が詰まっており、人間力を高めるために有効」との考えを示し、教員が生徒の考えを理解し、生徒同士が理解を深めることにもつながると期待を寄せた。

小浜二中はNIEのプロジエクトチームを編成した。校内には特別支援学級の生徒手作りの閲覧台を置いて新聞に親しむ環境を整え、今後は新聞コラムの視写などにも取り組む計画だ。NIE担当の西川洋人教諭(55)は「生徒たちの主体性を大切に、社会との結びつきを深める実践を通して思考力を高めたい」と意欲を示していた。

新聞活用研修の問い合わせは、福井新聞社みんなの新聞部 ☎0776(57)5122。

(山口晶永)